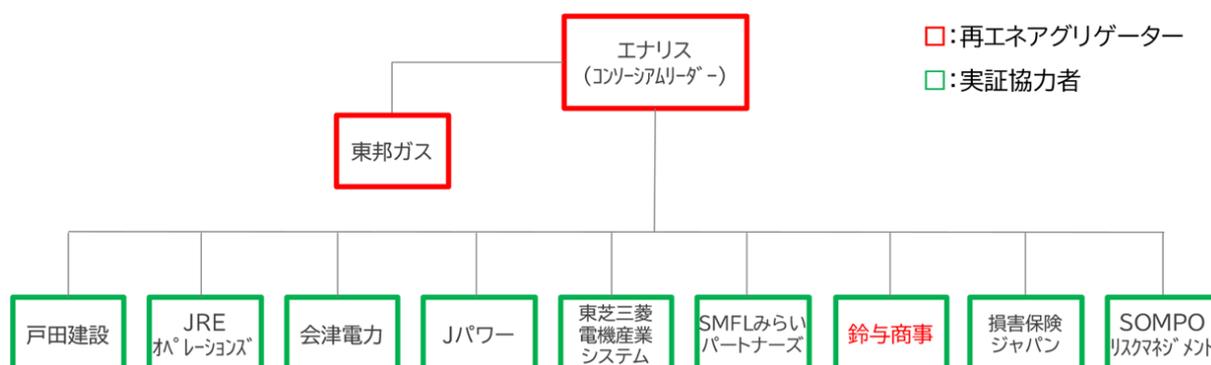


## ■実施体制図(11社)



## ■本実証の概要

事業名	再エネ主力電源化に向けた DER 活用電力システム構築実証事業	
コンソーシアム リーダー	株式会社エナリス	
再エネアグリゲーター	株式会社エナリス、東邦ガス株式会社	
実証協力者	戸田建設株式会社、JRE オペレーションズ株式会社、会津電力株式会社、電源開発株式会社(Jパワー)、東芝三菱電機産業システム株式会社、SMFL みらいパートナーズ株式会社、損害保険ジャパン株式会社、SOMPO リスクマネジメント株式会社、 <b>鈴与商事株式会社</b>	
実証地域	東北エリア、東京エリア、中部エリア、関西エリア、九州エリアを中心とした全エリア対象	
発電/制御設備	太陽光発電所(野立て、屋根置き)、風力発電所、産業用蓄電システム	
実証内容	【共通】インバランス回避実証:	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 発電量予測タイミング(通年でのFIP収益性・インバランス評価、RT予測精度向上)</li> <li>■ 時間前市場取引によるインバランス回避(収益性の評価)</li> <li>■ 蓄電池充放電によるインバランス回避(収益性の評価)</li> </ul>
	【共通】市場取引での収益拡大に向けた検証:	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 蓄電池導入やBG組成による経済的効果の検証</li> <li>■ 発電所併設蓄電池のレバニユースタック(収益源拡大)の検討</li> </ul>

	<p>【共通】再エネ発電量予測技術実証:</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンサンブル予測導入効果検証 (異なる気象予報会社の予測データを用いた場合の再エネ発電予測精度の検証)</li> <li>■ 予測精度向上検証(積雪の影響を考慮した予測技術の開発、洋上風力発電における予測技術の検証、トラブル停止等による異常値や出力抑制の検知手法の開発)</li> <li>■ 発電量予測精度と予測運用コストの費用帯効果の検証</li> </ul>
	<p>【独自】インバランリスク保険商品等検討:</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 再エネ発電予測誤差に起因するインバランリスクヘッジのための保険商品およびサービスの開発検討</li> </ul>